

**日本原子力発電株式会社東海低レベル放射性廃棄物埋設事業所
前回までの審査会合における指摘事項管理表**

番号	審査会合 (開催日)	資料	コメント要旨	対応状況	備 考
1	第190回 (H29.3.17)	資料2	低透水性土壌について、設定値や設定の考え方を説明すること。 (議事録P11,12)	第9条(異常時の放射線障害の防止)の評価パラメータの審査時に説明する予定。	
2	第190回 (H29.3.17)	資料2	地下水流動について、基本的な地下水位の考え方や柱状図など申請書に載っている以外のデータや東海第二発電所の防潮堤の設置も含め説明すること。 (議事録P12～15、P16,17)	水理の審査時に説明する予定。	
3	第190回 (H29.3.17)	資料2	遮水シート及び排水路について、具体的な性能、耐久性、効果を説明すること。 (議事録P17,18)	「資料2 添付資料4 別添1」で本日説明。	
4	第190回 (H29.3.17)	資料3, 4	I. 外部事象の網羅性について、管理期間終了後の埋設処分特有の観点から検討し、シナリオで考慮すべき事象を網羅的に抽出し、丁寧に説明すること。 (議事録P36～38)	第9条(異常時の放射線障害の防止)の審査時に説明する予定。	
5	第190回 (H29.3.17)	資料3, 4	I. 外部事象の網羅性の「除外基準」並びに「自然現象の選定理由」、II. 土地利用による人間活動の網羅性の「選定理由」及びIII. 評価すべき事象の選定の「代表シナリオの選定」等について、定量的な説明、数値根拠等の記載を補強すること。 (議事録P41～44)	I. 外部事象の網羅性(自然事象): 第6条関連を資料2 別添資料 P7～P41で本日説明。 その他は、第9条(異常時の放射線障害の防止)の審査時に説明する予定。	
6	第190回 (H29.3.17)	資料3, 4	I. 外部事象の網羅性について、津波と洪水の選定結果の相違に關し、考え方を説明すること。 (議事録P42)	「資料2 別添資料P29及びP43～P45」で選定結果の考え方を統一したことを本日説明。	
7	第190回 (H29.3.17)	資料3, 4	I. 外部事象の網羅性の除外基準について、そのハザードを感じて排除できるとかではなく、緩慢事象であり、その影響が及ぶまでには十分に減衰している等の理由として整理すること。 (議事録P44～46)	第9条(異常時の放射線障害の防止)の審査時に説明する予定。	
8	第190回 (H29.3.17)	資料3, 4	III. 評価すべき事象の選定について、基本シナリオ、変動シナリオ、自然事象シナリオ、人為事象シナリオの区分の考え方を説明すること。 (議事録P46, 47)	第9条(異常時の放射線障害の防止)の審査時に説明する予定。	

番号	審査会合 (開催日)	資料	コメント要旨	対応状況	備 考
9	第190回 (H29.3.17)	資料3, 4	III. 評価すべき事象の選定について、自然事象が通常起こり得ない事象であることを説明すること。 (議事録P47, 48)	第9条(異常時の放射線障害の防止)の審査時に説明する予定。	
10	第190回 (H29.3.17)	資料3, 4	外部事象の6条で選定する事象と9条で選定する事象があるが、9条のシナリオ選定については、高レベルや中深度処分の長期の評価と違う部分のシナリオを掘り下げて補強すること。 (議事録P49, 50)	第9条(異常時の放射線障害の防止)の審査時に説明する予定。	
11	第202回 (H29.6.12)	資料1-2	核種の抽出はORIGENを基に行っているが、線量評価ではJENDLの値を使用しており、整合性のある説明とすること。 (議事録P9, 10)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
12	第202回 (H29.6.12)	資料1-2	生成の可能性等の確認結果を基に25核種を除外しているが、除外理由である「生成量が少ない」、「超長半減期核種」について判断基準を具体的に説明すること。 (議事録P11)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
13	第202回 (H29.6.12)	資料1-2	スケーリングファクタ法、平均放射能濃度法を用いることの考え方を説明すること。 (議事録P12, 13)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
14	第202回 (H29.6.12)	資料1-2	Cl-36のスケーリングファクタが200となっており、他に比べて大きくなっている根拠を説明すること。 (議事録P14)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
15	第202回 (H29.6.12)	資料1-2	クリアランスの基準値として、法令やIAEAで載っていないものについて、ヨウ素の0.01ではなく0.1を代入している理由を説明すること。 (議事録P17)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
16	第202回 (H29.6.12)	資料1-2	除外された26核種について線量評価が実施されているが、当該26核種の評価に用いた各パラメータの妥当性について根拠を用いて説明すること。 (議事録P18~20)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
17	第202回 (H29.6.12)	資料1-2	選定したシナリオの代表性について、シナリオの内容やパラメータを含め、判断した理由を説明すること。 (議事録P20, 21)	パラメータ: 次回以降の審査会合で説明する予定。 シナリオ: 第9条(異常時の放射線障害の防止)の審査時に説明する予定。	
18	第202回 (H29.6.12)	資料1-2	今回除染効果の考え方を変更しているが、恣意的な印象を与えないために、保守側を見るべきところ／見なくても良いところを明確にし、一貫したロジックで説明すること。 (議事録P23, 24)	次回以降の審査会合で説明する予定。	

番号	審査会合 (開催日)	資料	コメント要旨	対応状況	備 考
19	第202回 (H29.6.12)	資料1-2	ロジックの一貫性を理由に10核種に変更しているが、スケーリングファクタから見ても新たに除外したNiはかなりの量があると思われる。寄与がないというだけで除外してよい理由を説明すること。 (議事録P24, 25)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
20	第202回 (H29.6.12)	資料1-2	海産物摂取の相対重要度について、P22ではC-14が1番目、K-40が2番目に高くなっているが、P23ではトリチウムが2番目になっている理由を説明すること。 (議事録P25)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
21	第202回 (H29.6.12)	資料1-2	重要度分類の計算で、 α 核種の子孫核種は考慮されているのか確認すること。 (議事録P27)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
22	第213回 (H29.8.22)	資料1	グレーデッドアプローチのための竜巻によるリスク評価については、施設のクレジットがなくても5mSv以下であることを示すように評価を見直すこと。 (議事録P13)	「資料2 添付資料5 別添2 P9-P27」で本日説明。	
23	第213回 (H29.8.22)	資料1	竜巻影響評価へのフジタモデルの適用性を説明すること。 (議事録P14, 15)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
24	第213回 (H29.8.22)	資料1	容器の閉じ込め機能等、附属施設の機能を期待しないことの妥当性を説明すること。 (議事録P18, 19)	「資料2 P1-P4」及び「添付資料1」で本日説明。	
25	第213回 (H29.8.22)	資料1	雷に対して避雷針を設置しない理由を、根拠等を用いて説明すること。 (議事録P 20)	「資料2 添付資料9」で本日説明。	
26	第213回 (H29.8.22)	資料1	飛来物からの防護や飛散防止として、周辺からの影響(例:松林の枝)や固縛等の方法も含め説明すること。 (議事録P20, 21)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
27	第213回 (H29.8.22)	資料1	飛散防止に関連するプラスチックシートやフレキシブルコンテナが、竜巻によって破損しないことを説明すること。 (議事録P21)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
28	第213回 (H29.8.22)	資料1	非常に強い風により、砂がどの程度動くのか説明すること。 (議事録P21)	「資料2 添付資料4 P2-P7」で本日説明。	
29	第213回 (H29.8.22)	資料1	森林火災については、火災影響評価ガイド以外を用いる場合は、評価方法の妥当性を説明すること。 (議事録P22)	次回以降の審査会合で説明する予定。	

番号	審査会合 (開催日)	資料	コメント要旨	対応状況	備 考
30	第213回 (H29.8.22)	資料1	飛来物の評価については、衝突したときに壊れない下限値を設定し、その上で固縛等の対策を取るなど、論理を構築すること。 (議事録P23)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
31	第213回 (H29.8.22)	資料1	砂地であることを踏まえ、ひによる廃棄物埋設地への影響を説明すること。 (議事録P24)	次回以降の審査会合で説明する予定。	
32	第213回 (H29.8.22)	資料1	中間覆土について、締固め圧等の定量的な説明をすること。 (議事録P25)	「資料2 添付資料4 P11」で本日説明。	